

堺

臨濟宗南宗寺

南宗寺は大阪府堺市にある臨濟宗大徳寺派の寺院である。山号を竜興山と称する。茶人の武野紹鷗、千利休が修行をしたゆかりの寺であり、沢庵和尚が住職を務めたこともある。堺の町衆文化の発展に寄与した寺院である。創建当時は堺市宿院町付近にあったと伝える。天正2年（1574年）の松永久秀の兵火で焼け、さらに元和元年（1615年）の大坂夏の



南宗寺枯山水庭園

所在地：堺市南旅籠町東3丁1-2
最寄駅：阪堺線 御陵前駅下車 徒歩約10分
拝観料：400円 拝観時間：9:00～16:00 無休
・枯山水庭園（名勝）・千利休ゆかりの茶室「実相庵」
TEL：072-232-1654

陣では堺の市街とともに焼失したが、その後、当時の住職であった沢庵宗彭によって現在の場所に再興された。現存する仏殿、山門などは沢庵の没後、17世紀半ばに整備されたものである。第二次世界大戦で一部の建物を失ったが、境内は江戸時代の禅宗寺院の雰囲気をとどめている。境内には、仏殿、唐門、山門の建築物がある。また、方丈の枯山水庭園は古田織部の作と伝えられ、国の名勝に指定されている。（七堂元敏）